

設計者にとって家造りとは、いかにしてお施主様の要望を把握し、形にするか。が原点にあります。好みや生活スタイル、ご予算と、住まいは一つとして同じ条件ではありません。時には施工上、金額上、どうしてもご予算に沿えない場合が出てきます。と言いますかほぼ出てきます。笑

そんな時は、家造りの軸を決め、それに沿って進めると案外良いところに収まったりします。

たとえば、一番多いのは、ご希望の仕様とご予算が合わないという事があります。家造りを始められた当初は情報も少なく、細かなところまでご自身の要望を把握せずに予算を決める事がほとんどだと思えますが、話が進みイメージが出来てくると、どんどん要望が加速して行く傾向にあります。それこそインスタ等で良い感じの写真が沢山ありますし、最近ではセルフリフォーム事例の紹介記事や画像も沢山ありますね。そういった外からの情報にどうしても左右されてしまうのです。ご自身の大切な家です。当然の反応だと思えます。

しかし、お施主様のご要望を全て反映すると、それぞれは格好いいかもしれませんが、全体としてまとまりが無く、かつ金額も恐ろしいものになってしまい、挙げ句に通常の工事期間では収まらないなんて事態になりかねません。特にこだわりが沢山ある方は注意です！笑

私達、設計者の出番はここからです。

そのような事を回避してもなお、満足のいく空間を作ります。そうです。満足度はほぼ下げずに金額を下げる必要があります。

このために沢山、それはそれは沢山お話しします。設計

ご要望。

zuiun便り vol.51

している時間よりお施主様と話をしている時間の方が長いではないかというくらいお話しをします。ここに必要な事は、一つ、お施主様と設計者の信頼関係です。ここがあれば最後にはご満足頂けると考えています。

最初にお話しした時から、zuiunに決めて頂き、御契約し、細かい打ち合わせを重ね、着工から完成、お引き渡しまで、長い期間のお付き合いです。その間に最初に会った時はまだ歩けなかったお子さんが、家が完成するころには家の中を走り回れるようになっていたり。この濃い時間を共有したんだなあと、毎回感じます。

一つの住宅をお引渡しするまでに、お施主様のお家ですが、設計者にとっても思い入れのあるお家になっているのです。

そして、このお付き合いはお引き渡し後も続きます。

家も人と一緒に年を重ねていきますし、人がお風呂に入ったたり、体調をくずしたりするのと同じように、自然界に存在する以上、家も汚れるし傷つくし、病気になる前のメンテナンスが必要です。永久に建築時の状態を維持することはできませんが、格好良く朽ちていく事ならできるのでないでしょうか。

その方法を一緒に設計していきましょう。

ご要望が沢山ある方、是非zuiunにご相談下さい。あの手この手で実現可能なお家をご提案します。

その際は、沢山お話しをする覚悟と、気力を持ってきて下さいね。笑